

2025年4月25日

各位

会社名 エレベーターコミュニケーションズ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 薄田 章博  
(コード番号：353A 札証アンビシャス)  
問合せ先 取締役副社長 兼 管理本部長 村石 誠司  
(電話番号：03-5767-8111)  
U R L <https://www.evcom.co.jp/>

### 札幌証券取引所アンビシャスへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日2025年4月25日に札幌証券取引所アンビシャスに上場いたしました。今後とも、なご一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年5月期(2024年6月1日から2025年5月31日まで)における当社の業績予想は、次のとおりであります。また、最近の決算情報等につきましては、別添のとおりであります。

#### 【個別】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	2025年5月期 (予想)		2025年5月期 第3四半期累計期間 (実績)		2024年5月期 (実績)	
		対売上高 比率	対前期 増減率	対売上高 比率	対売上高 比率		
売上高		4,026	100.0	2,980	100.0	3,291	100.0
営業利益		229	5.6	185	6.2	140	4.2
経常利益		218	5.4	192	6.4	137	4.1
当期(四半期)純利益		126	3.1	118	3.9	74	2.2
1株当たり当期 (四半期)純利益		129円65銭		124円53銭		78円25銭	
1株当たり配当金		0円00銭		0円00銭		0円00銭	

- (注) 1. 当社は、連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。  
2. 2024年5月期(実績)及び2025年5月期第3四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。  
3. 2025年5月期(予想)の1株当たり当期純利益は、予定期中平均発行済株式数により算出しております。  
4. 当社は、2024年12月16日開催の取締役会決議により、2025年1月10日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期(四半期)純利益については、2024年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

## 【2025年5月期業績予想の前提条件】

### 1. 当社全体の見通し

当社は、エレベーターやエスカレーター等の昇降機を対象として、「すべてのお客様にスペシャリティメンテナンスをフェアプライスで」をミッションとして、点検、監視、保守、部品交換等のメンテナンスやリニューアルサービスを提供しております。事業の遂行にあたっては、昇降機の品質及び性能の維持・向上、利用者の安心・安全の確保を最優先しつつ、高品質なサービスをリーズナブルかつ迅速に提供することを基本方針としております。

#### (1) 事業の特徴

当社の事業の主な特徴は、以下のとおりであります。

##### ① リーズナブルな価格設定

当社設立当時のエレベーター等のメンテナンス業界において、メーカーは、それぞれ自社や系列のメンテナンス会社を通じて、自社の製品のみでのメンテナンスを行うことが一般的であり、価格やサービス内容に競争原理も働きにくい状況であったと想定しております。

当社は、独立系メンテナンス専業会社であり、開発及び製造コストの負担が想定される上記のメーカー及びメーカー系のメンテナンス会社と比較して、リーズナブルな価格設定が可能であります。

##### ② メーカー各社の昇降機に対応

当社は、独立系メンテナンス専業会社として、国内主要メーカーである三菱電機株式会社、株式会社日立製作所、東芝エレベータ株式会社、日本オーチス・エレベータ株式会社、フジテック株式会社の昇降機にオールマイティに対応したメンテナンスサービスを提供できます。

##### ③ 全国拠点網による広範かつ迅速な営業及びサポート対応

当社は、本書提出日現在において、全国47支店及び出張所を構えており、広範な営業活動を行うとともに、これらの拠点近隣においては、災害発生等人命に関わる緊急時は、通報後速やかに現場到着できる体制を備えております。

##### ④ トータルサービスの提供

当社は、保守業務において昇降機の点検を行った結果、経年劣化が著しい場合、装置の旧式化により時代のニーズに合わなくなった場合は、制御盤、巻上機、モーター等の主要装置のリニューアルを提案・実施することで、トータルなサービス提供が可能であります。

##### ⑤ ITを活用した緊急時対応

当社は、災害や故障等の緊急時にタイムリーかつ適切に対処するため、ITを活用しております。具体的には、QRコードから利用者が当社技術員と直接やりとりできるシステムの提供、社内システム上での災害一覧や災害マップの参照機能の導入等を行っております。

## (2) 受注業務形態

当社の報告セグメントは「昇降機メンテナンス事業」の単一セグメントであります。以下の2つの受注業務形態でサービスを提供しております。

受注業務形態	概要
①保守業務	昇降機の点検、監視、緊急時対応
②保全・リニューアル業務	昇降機の点検結果等に基づく、部品交換・修理、リニューアル

2025年5月期における経済状況は、景気の緩やかな回復が続いているものの、長期化するウクライナ情勢や中東地域の地政学的リスクの高まり、世界的資源・エネルギー価格の高止まりによる原材料価格の上昇、金融資本市場の変動等から、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

エレベーター等の昇降機メンテナンス業界においては、マンションストック戸数や、オフィスビルの供給量増により、エレベーター等の昇降機設置台数は緩やかな増加傾向を示しております。また、1990年代後半からの不動産開発や、建設ラッシュに伴い急増したエレベーター等の昇降機が更新時期を迎え、加えてメーカーによる旧型昇降機の部品供給が2020年以降相次いで停止することに伴い、リニューアル工事の需要は今後さらに高まるものと予想しております。

このような環境の下、当社では、企業の施設維持管理コストの見直しや経費削減ニーズに対応しつつ、新規物件の獲得や既存契約の維持に取り組んでまいりました。また、エレベーター等の昇降機の安全運行、故障対応並びに災害時等における早期復旧要請に応えるべく、保守対応エリアの拡大を目指し、新たに石垣支店（沖縄県）を2024年9月に、小樽支店（北海道）を2024年12月に開設いたしました。さらに、人材の確保と育成を通じて技術力の向上を図っております。

これらの結果、2025年5月期の通期業績予想につきましては、売上高は4,026百万円（前期比22.3%増）、営業利益229百万円（同63.5%増）、経常利益218百万円（同58.6%増）、当期純利益126百万円（同70.0%増）を見込んでおります。なお、当該予想数値につきましては、2024年6月から2025年3月までの実績値及び以降の予測値を合算したものであります。

## 2. 業績予想の前提条件

(売上高)

当社の報告セグメントは「昇降機メンテナンス事業」の単一セグメントですが、受注業務形態「保守業務」、「保全・リニューアル業務」及びそれらに付随するサービスである「その他」に分けて算出しています。

(単位：百万円、%)

決算期 受注業務形態	2025年5月期 (予想)			2025年5月期 第3四半期累計期間 (実績)		2024年5月期 (実績)	
	売上高	割合	前期比	売上高	割合	売上高(千円)	割合
保守業務	1,771	44.0	3.8	1,330	44.6	1,706	51.8
保全・リニューアル業務	2,253	55.9	42.2	1,648	55.3	1,583	48.1
その他	0	0.0	△13.3	0	0.0	0	0.0
合計	4,026	100.0	22.3	2,980	100.0	3,291	100.0

### ① 保守業務

売上高の予想については、当月の新規保守契約件数(※1)×契約単価(※2)+保守契約継続分(※3)を月次で積み上げて算出しております。これらの前提により、保守業務の売上高は、1,771百万円(前期比3.8%増)を見込んでおります。

※1 新規保守契約件数は、新規契約件数から解約件数を引いた純増件数であり、当期の動向等を勘案し算出しております。

※2 契約単価は、保守契約形態、前年実績値に当期の動向等を勘案して算出しております。

※3 保守契約は年間又は複数年の契約で締結し、契約期間中は定期的に収益が発生します。

### ② 保全・リニューアル業務

売上高の予想については、前期末からの受注残470百万円(前期比178.9%増)、及び、工事完了を見越した受注件数(※4)×受注単価(※5)を月次で積み上げて算出しております。これらの前提により、保全・リニューアル業務の売上高は、2,253百万円(前期比42.2%増)を見込んでおります。

※4 工事完工を見越した受注件数は、当期の動向等を勘案して算出しております。

※5 受注単価は、前期実績値に当期の動向等を勘案して算出しております。

### ③ その他

売上高の予想については、前期実績値に当期の動向等を勘案して算出しております。これらの前提により、その他の売上高は、383千円(前期比13.3%減)を見込んでおります。

以上の結果、2025年5月期における売上高は、4,026百万円(前期比22.3%増)を見込んでおります。なお、2025年5月期第3四半期累計期間の実績は2,980百万円となっております。

#### (売上原価、売上総利益)

当社の売上原価は、保守業務、保全・リニューアル業務で使用する部材、技術員の労務費及びその他直接経費で構成されております。売上原価は、前期実績値に当期の市場環境を考慮し、部材仕入等のコストを見込んで原価率を予想し、予想売上高に乗じることで算出しており、売上拡大に伴い増加を見込んでおります。

以上の結果、2025年5月期の売上原価は2,831百万円(前期比26.0%増)、売上総利益は1,194百万円(前期比14.2%増)を見込んでおります。なお、2025年5月期第3四半期累計期間の売上原価の実績は2,074百万円、売上総利益の実績は905百万円となっております。

#### (販売費及び一般管理費、営業利益)

当社の販売費及び一般管理費は、主に人件費、旅費交通費、販売手数料等で構成されております。

人件費は、既存人員及び採用計画に基づき、昇給・昇格方針を決定し、積み上げ方式で算出して予想しており、事業拡大に対応する人員及び人的資本に関わる戦略を通じた人材確保及び育成のため、増加を見込んでおります。旅費交通費は、事業拡大を見込み、積極的な営業活動により増加を見込んでおります。また、販売手数料は、事業拡大を見込み、代理店政策の積極的な展開により増加を見込んでおります。

以上の結果、2025年5月期の販売費及び一般管理費は965百万円(前期比6.6%増)、営業利益は229百万円(前期比63.5%増)を見込んでおります。なお、2025年5月期第3四半期累計期間の販売費及び一般管理費の実績は720百万円、営業利益の実績は185百万円となっております。

#### (営業外収益、営業外費用、経常利益)

営業外収益は、主に補助金収入、雑収入により、15百万円(前期比125.1%増)を見込んでいます。

営業外費用は、主に支払利息、上場関連費用により、26百万円(前期比177.8%増)を見込んでおります。

以上の結果、2025年5月期における経常利益は218百万円(前期比58.6%増)を見込んでおります。前期比で増加の要因は、売上高が増加したことによるものであります。なお、2025年5月期第3四半期累計期間の実績は192百万円となっております。

#### (特別利益、特別損失、法人税等、当期純利益)

特別利益及び特別損失については、見込んでいる事項はありません。

法人税等については、過去の税率実績等を参考として予想しております。

以上の結果、2025年5月期における当期純利益は126百万円(前期比70.0%増)を見込んでおります。なお、2025年5月期第3四半期累計期間の実績は118百万円となっております。

#### 【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。今後業績予想の見通しに変化があった場合は適時に修正致します。

以上

## 2025年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年4月25日

上場会社名 エレベーターコミュニケーションズ株式会社 上場取引所 札  
コード番号 353A URL https://www.evcom.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 薄田 章博  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 兼 管理本部長 (氏名) 村石 誠司 (TEL) 03-5767-8111  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年5月期第3四半期の業績（2024年6月1日～2025年2月28日）

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期第3四半期	2,980	—	185	—	192	—	118	—
2024年5月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期第3四半期	124.53	—
2024年5月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、2024年5月期第3四半期について、四半期財務諸表を作成していないため、2024年5月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2025年5月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 2025年5月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株主は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。
3. 当社は、2024年12月16日開催の取締役会決議により、2025年1月10日付で、普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に該当株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年5月期第3四半期	1,614	221	13.6
2024年5月期	1,317	103	7.7

(参考) 自己資本 2025年5月期第3四半期 220百万円 2024年5月期 101百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年5月期	—	0.00	—		
2025年5月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年5月期の業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,026	22.3	229	63.5	218	58.6	126	70.0	129.65

直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

- \* 注記事項
- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年5月期3Q	949,940株	2024年5月期	949,940株
② 期末自己株式数	2025年5月期3Q	—株	2024年5月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年5月期3Q	949,940株	2024年5月期3Q	—株

- (注) 1. 当社は、2024年12月16日開催の取締役会決議により、2025年1月10日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に該当株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。
2. 2024年5月期第3四半期の期中平均株式数については、四半期財務諸表を作成していないため記載しておりません。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6
3. その他 .....	6

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、旺盛なインバウンド需要を背景として、緩やかな回復が続いているものの、中東情勢や米国の政策動向、世界的資源・エネルギー価格の高止まりによる原材料価格の上昇等から、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社が属するエレベーター等の昇降機メンテナンス業界においては、マンションのストック戸数やオフィスビルの供給量の増加に伴い、エレベーター等の昇降機の設置台数は緩やかな増加傾向を示しております。また、1990年代後半からの不動産開発や建設ラッシュに伴い、急増したエレベーター等の昇降機が更新時期を迎え、加えて昇降機メーカーによる旧型昇降機の部品供給が2020年以降相次いで停止することに伴い、リニューアル工事の需要は、今後さらに高まるものと予想しております。

このような環境の下、当社では、企業の施設維持管理コストの見直しや経費削減ニーズに対応しつつ、新規物件の獲得や既存契約の維持に取り組んでまいりました。また、昇降機の安全運行、故障対応並びに災害時等における早期復旧要請に応えるべく、保守対応エリアの拡大を目指し、新たに小樽支店（北海道）を2024年12月に開設いたしました。さらに、人材の確保と育成を通じて技術力の向上を図ってまいりました。

これらの取り組みにより、当第3四半期累計期間における保守業務については、営業体制の強化により保守管理契約台数が順調に推移し、保守業務の売上高は1,330,998千円となりました。保全・リニューアル業務については、部品供給停止物件への指摘提案強化、施工管理体制の見直し、好調なリニューアル需要の後押しもあり、売上高は1,648,964千円となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高は2,980,257千円、営業利益は185,187千円、経常利益は192,824千円、四半期純利益は118,302千円となりました。

なお、当社の報告セグメントは、昇降機メンテナンス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における資産は1,614,101千円となり、前事業年度末に比べ297,068千円増加いたしました。これは主に、繰延税金資産23,087千円等が減少した一方で、売掛金187,033千円、仕掛品76,736千円等が増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債は1,392,465千円となり、前事業年度末に比べ178,766千円増加いたしました。これは主に、長期借入金25,412千円等が減少した一方で、1年内返済予定の長期借入金24,054千円、買掛金28,786千円、未払金17,871千円、契約負債84,532千円等が増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は221,635千円となり、前事業年度末に比べ118,302千円増加いたしました。これは、四半期純利益118,302千円の計上により、利益剰余金が118,302千円増加したことによるものであります。

これらの結果、当第3四半期会計期間末における自己資本比率は、13.6%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予想情報に関する説明

2025年5月期の業績予想につきましては、本日開示いたしました「札幌証券取引所アンビシャスへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	522,473	541,029
売掛金	289,609	476,642
仕掛品	86,069	162,805
原材料及び貯蔵品	150,120	163,630
前払費用	20,858	28,066
その他	202	5,918
貸倒引当金	△788	△322
流動資産合計	1,068,546	1,377,771
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	30,392	28,523
工具、器具及び備品（純額）	3,830	5,071
土地	55,556	55,556
リース資産（純額）	72,444	84,636
有形固定資産合計	162,224	173,788
無形固定資産		
ソフトウェア	20,790	36,846
その他	16,129	129
無形固定資産合計	36,920	36,976
投資その他の資産		
関係会社株式	3,000	3,000
破産更生債権等	4,360	5,111
長期前払費用	259	559
繰延税金資産	30,186	7,099
その他	15,895	14,905
貸倒引当金	△4,360	△5,111
投資その他の資産合計	49,341	25,565
固定資産合計	248,486	236,330
資産合計	1,317,032	1,614,101

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	246,038	274,824
1年内返済予定の長期借入金	151,956	176,010
リース債務	38,852	35,856
未払金	58,973	76,844
未払費用	58,312	58,279
未払法人税等	12,156	51,154
契約負債	186,407	270,939
預り金	20,709	17,801
賞与引当金	4,500	9,000
その他	34,885	29,863
流動負債合計	812,792	1,000,575
固定負債		
長期借入金	358,012	332,600
リース債務	42,824	59,220
その他	70	70
固定負債合計	400,906	391,890
負債合計	1,213,699	1,392,465
純資産の部		
株主資本		
資本金	67,090	67,090
資本剰余金		
資本準備金	45,081	45,081
資本剰余金合計	45,081	45,081
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△10,251	108,051
利益剰余金合計	△10,251	108,051
株主資本合計	101,920	220,222
新株予約権	1,412	1,412
純資産合計	103,332	221,635
負債純資産合計	1,317,032	1,614,101

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
売上高	2,980,257
売上原価	2,074,262
売上総利益	905,995
販売費及び一般管理費	720,807
営業利益	185,187
営業外収益	
受取利息	295
補助金収入	11,166
受取保険金	997
受取賃貸料	720
その他	1,815
営業外収益合計	14,995
営業外費用	
支払利息	5,231
株式交付費	1,000
その他	1,126
営業外費用合計	7,357
経常利益	192,824
特別損失	
固定資産除却損	235
特別損失合計	235
税引前四半期純利益	192,588
法人税、住民税及び事業税	51,199
法人税等調整額	23,087
法人税等合計	74,286
四半期純利益	118,302

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社は、昇降機メンテナンス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、以下のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)
減価償却費	43,099千円

3. その他

該当事項はありません。